



2018年 3月

自分らしいキャリアコンサルティング講座

働き方・生き方の再確認

3月17日(土) 10:00~12:00

2018年 4月

クイズで学ぶ 社会貢献あれこれ

~CSR・市民活動の自分らしさのヒントに~

4月25日(水) 13:30~15:30

.....〈3月・4月講座共通事項〉.....

講師 松阪市市民活動センター指定管理者 NPO法人 Mブリッジ 代表理事 米山 哲司

参加費 一般参加...2,000円 登録団体...!!!無料!!!

TEL 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

センター登録団体は必ず登録番号と団体名をお伝えください。



【NPOあっぱれ大賞】年間情報発信スペース

子育て応援プロジェクト☆パイン

昨年度のNPOあっぱれ大賞で子育て応援プロジェクト☆パインさんに授与した本紙の年間情報発信の権利として、今年度1年間(6回発行分)このスペースで団体の情報発信を支援します。

パパの子育てにも協力

「子育て支援」と聞くと「ママと子ども」が中心のイベントや講座を思い浮かべますよね?しかし、やはり子育てにはパパの参加・協力は欠かせません。そんな、パパへのサポートも考えた支援が重要視される中、松阪市で男性の育児参画を盛んにする新しいチャレンジがスタート!市内の複数の企業とパパの支援グループ、そして子育て応援プロジェクト☆パインがタッグを組んで2月18日(日)にファミリーイベントを開催しました。男性の育児参画をテーマに東邦ガス松阪営業所キッチンスタジオで実施した「ホテル料理長伝授!パパの豪華ランチ料理教室&お楽しみ親子ワークショップ」は、松阪市が今以上に子育てしやすい地域になるように、パパの家事と育児参画を応援する企業の輪がひろがるようにといった思いのつまった企画でした。パインでは、今までの活動をベースに、このような動きが市内でも広がるように働きかけていきたいと思っています。

子育て☆おたすけ隊 募集中!

Mail kosodatepine@gmail.com Tel 080-9289-1536 (酒井)

日頃の活動はブログをチェック! 子育て パイン 検索 http://ameblo.jp/projectpine

AROMA

~アロマ~ No.75

A Resident Of Matsusaka Activity

今回は昨年実施した「NPO あっぱれ大賞」の授賞式でノミネート団体の中から推薦で決定した団体を取材した「特別編」です。



取材団体... 要約筆記サークル「OASIS」さん

要 約筆記という言葉をご存知ですか? 要約筆記とは、難聴者・中途失聴者や聞こえに不安を感じる人に対して「音声による情報」を要約して文字に書き起こし伝える通訳手法です。難聴者・中途失聴者の中には手話で完全なコミュニケーションが取れない人も少なくありません。聞こえないことで得られる情報が不足し、社会に参加できずに困っている人たちに要約筆記で情報保障の確立を目指しているのが、要約筆記サークル「OASIS」(代表・津田みゆきさん)です。メンバーは主に50代~60代、三重県での要約筆記講習会が始まったのを機に、講習の卒業生の受け皿として設立されました。

活 動は主に、毎月第二土曜日に行なわれる「中途失聴・難聴者の会 すてきなステーキ」さんとの合同例会や要約筆記の勉強会です。また、季節に合わせたイベントや体験教室を開催して難聴者・中途失聴者への社会参加のサポートも行っており、要約筆記による通訳だけでなく多様な形で聴覚障がい者への交流や支援を行っています。一方で現在直面している問題が「活動メンバーの減少」による人手不足です。家庭の事情や仕事の都合などで活動を辞める方が多く、また2011年度には「全国統一要約筆記認定試験」が導入され、資格取得までのハードルが上がったこともあり、新たに要約筆記を始める人が少なくなりつつあるのが現状です。同サークルでは要約筆記を身近に触れてもらい必要性を知ってもらおうと、鈴の音市・市民ステ

ジへの参加や体験教室を開催しており、日々要約筆記の知名度向上を目指しています。

難 聴者・中途失聴者にとって、要約筆記は音声と同じように情報を得るための大事な手段の一つです。メンバーの皆さんに活動を続けている理由を伺うと「難聴の方が必要とくださるから」、「ただ通訳するだけでなく、難聴の方と交流することで楽しみが出来る」と改めて難聴者・中途失聴者のためのサークルであることを説明してくださいました。メンバーの北岡さんは「最初は難しそうに思えるが、継続することで分かる要約筆記の良さを知ってもらいたい」と呼びかけます。空いた時間を活用して何か資格が取りたい、困っている人を支えたいという方はこれを機に要約筆記に触れてみませんか?

センターからのお知らせ



◎初午大祭 休館のお知らせ ▶ 3/2(金)・3/3(土) ※会議室のご予約もできません。予めご了承ください。

松阪発信! 市民活動の情報紙 AROMA

募集・イベント・事業案内など、本紙に情報掲載ご希望の方は、Mail か FAX でご連絡ください。締切【2018年3月31日(土)】担当: 澤・川村 次号は2018年4月中旬発行予定です。

ちよこっと編集後記...

毎月第三土曜日に開催していたセンター主催おススメ講座の日程が四月から変わります。様々な曜日・時間に開催することで、よりたくさんの方が参加できればと思います。来年度も、目指せ!スキルアップ!【K】

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00 松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時まで無料

TEL 会議室・商品予約専用 0598-25-3801 問 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用 会議室 大会議室...机10 椅子30(610円) 小会議室1...机4 椅子12(160円) 小会議室2...机6 椅子18(210円) 小会議室3...机4 椅子12(160円) 料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室...机8 椅子24(410円)

機材等 印刷機(紙持込) / コピー機 マイク/プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。

利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。



▼ 松阪市市民活動センターホームページ http://www.katsudou.com

▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室予約の確認など) http://matsusaka.genki365.jp

豪商の知恵を現代に活かす

【報告】おススメ講座 企画力ひらめきトレーニング開催



1月20日、当センターのおススメ講座「企画力ひらめきトレーニング～アイデアと三方よし～」を開催しました。講師は当センター指定管理者のNPO法人Mブリッジ代表理事の米山が務め、江戸時代から日本に伝わる「世間よし」の視点を踏まえたアイデアの発想方法をPRプランナーの立場から解説しました。ビジネスでもNPO活動でも、共感を生む企画には柔軟な発想が欠かせません。特に今の時代は「売り手よし、買い手よし」のWIN-WINの関係だけでなく社会を良くする「世間よし」の視点が盛り込まれることで多くの共感を生む可能性が広がります。講座の中で解説した、松阪の豪商「三井家」の事例からも現代に活かせる多くの学びがあります。こうした学びが松阪地域の市民活動に活かされることを願います。

規約作りの基礎からコツまで

【報告】おススメ講座 任意団体の規約の作り方とメリット 開催



2月17日、当センターのおススメ講座「あれば安心！任意団体の規約の作り方とメリット」を開催しました。日本赤十字社・松阪市地域奉仕団の委員長であり、労務経営コンサルタントの松田貴さんを講師としてお招きし、規約を作る際に明記すべき事項や注意点を実際に起きた事例を交えて分かりやすく解説していただきました。規約は、団体の運営をスムーズにするための銀行口座の開設や保険加入の際にも必要です。ほかにも、活動時のトラブルから団体を守るリスクマネジメントとして重要な役割を果たします。安定した団体運営のためにも、新たに規約を作られたり現状の規約を見直していただき、組織の基盤強化につながることを期待します。

お雛さま姿のマスコットがお出迎え

【参加】第12回 松阪まちなかお雛さま祭り 今年も参加

毎年恒例の「松阪まちなかお雛さま祭り」に、当センターは今年も参加中です。当センターの登録団体でもある「ミズ・ネットワーク松阪」の事業で、イベント期間中は松阪中心市街地の商店街に色とりどりのお雛さまが並び、レシートラリーや雛祭りにちなんだお楽しみイベントも実施します。当センターでは、マスコットキャラクターのミライちゃんとマツハくんがお雛さまとお内裏さま姿となって皆様をお出迎えします。ぜひ会いに来てくださいね。

開催期間 **2月17日(土)～3月3日(土)**

お問合せ先：ミズ・ネットワーク松阪 **0598-21-0220**



交流会で人間SNSが大盛り上がり！

【報告】2017年度 みえ イーパーツ リユースPC寄贈式&交流会開催



2月3日、三重県内のNPOの活動をITの分野でサポートする「みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム」の寄贈式と交流会をアスト津にて開催しました。当センターも構成団体として名を連ねる実行委員会と、東京の認定NPO法人イーパーツが連携して主催するこのプログラムは今回で14回目を迎えます。今年度は三重県全体に40台のリユースPCを用意し、22団体に寄贈が決定。松阪地域では3団体の申請があり、5台の寄贈が決定しました。



交流会では「人間SNS」で大いに盛り上がりました。SNSとは、通常インターネット上のコミュニケーション・サービスのことを言いますが、そのやり取りを対面で行うのが人間SNSです。B2サイズのポスターに自団体の特徴や活動内容を書き、交流したい団体同士でPRします。PRに共感できれば付箋に「コメント」を書いて相手のポスターに貼り、そのお礼として「いいね」シールをお返しするという、顔の見える交流会ならではの企画です。得られたコメントといいねの合計数が多い団体には、協賛企業であるブラザー販売(株)から提供されたインクジェット複合機や、構成団体が持ち寄った各地の名物などを贈りました。寄贈式や交流会が、毎回あたたかい雰囲気であまりのこのプログラムの特徴です。寄贈したリユースPCが活用され、三重県内のNPOの活動が活発になることを願います。

県内NPOが目指すべき指針を示す

【報告】2017年度 三重NPOグランプリ 本戦開催



12月17日、三重県が主催する「市民活動・NPO月間」のイベント「協創シンポジウム」がアスト津で開催され、初の試みとなる「三重NPOグランプリ」の本戦が行われました。三重NPOグランプリは、県内のNPOが目指すべき1つの方向性を示すことと、それに伴い、NPOへの理解や参画につながることを期待する取り組みです。事前に県内8地域で予選が行われ、本戦の公開プレゼンによりグランプリが決定。今年度のグランプリは、伊賀地域で多文化共生に取り組む「NPO法人 伊賀の伝丸」が優勝しました。シンポジウムには三重県知事も出席。県内のNPOの活動を評価し、ダイバーシティ(多様性を受け止める)社会の一助をNPOが担っていくことへの期待を込めた言葉が印象的でした。